

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社東亜立地鑑定	
墨田（都）	ー5	東京都	区部第5	氏名	不動産鑑定士 山木 岳 印
鑑定評価額	57,000,000 円		1㎡当たりの価格	368,000 円／㎡	

1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 3年 7月 1日	(4) 鑑定評価日	令和 3年 7月 1日	(6) 路線価	[令和 3年 1月]	290,000 円/㎡
(2) 実地調査日	令和 3年 6月 21日	(5) 価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
					倍率種別	
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	①所在及び地番並びに 「住居表示」等					墨田区東向島三丁目208番8 「東向島3-16-17」					②地積 (㎡)		155 ()		⑨法令上の規制等											
	③形状		④敷地の利用の現況		⑤周辺の土地の利用の 状況		⑥接面道路の状況		⑦供給 処理施 設状況		⑧主要な交通施設との 接近の状況			準工 (80, 200) 準防 高度(3種最高17m)												
	1:1.5		事務所兼住宅 S3		住宅、事務所、小工 場が混在する住宅地 域		南西4.4m区道		水道 ガス 下水		東向島 600m			(その他) (90, 200)												
(2) 近隣 地域	①範囲		東 35 m、西 40 m、南 35 m、北 30 m					②標準的使用		低層住宅地																
	③標準的画地の形状等		間口 約 10.0 m、 奥行 約 15.0 m、 規模 150 ㎡程度、 形状 長方形																							
	④地域的特性		特記 事項		特にない		街 路		基準方位北、4.4 m区道		交通 施設		東向島駅西 600m		法令 規制		準工(90, 200) 準防 高度(3種最高17m)									
	⑤地域要因の 将来予測		住宅系用途と工業系用途が混在する住宅地域であり、長期的には住宅地域として純化していくものと予測する。コロナ禍であるが、堅調な不動産市況の下、地価水準は今後緩やかな上昇傾向で推移すると予測する。																							
(3) 最有効使用の判定		低層住宅地								(4) 対象基準地の 個別的要因		方位 +4.0														
(5) 鑑定評価の手法 の適用		取引事例比較法		比準価格		385,000 円/㎡																				
		収益還元法		収益価格		315,000 円/㎡																				
		原価法		積算価格		／ 円/㎡																				
		開発法		開発法による価格		／ 円/㎡																				
(6) 市場の特性		同一需給圏は、墨田区北部の東武伊勢崎線・亀戸線、京成押上線等を最寄駅とする戸建住宅地域一帯である。需要者は区内在住の中～高所得者層の他、分割再販目的の不動産業者も想定される。都心アクセス性に優れていることから、コロナ禍においても需要は現在比較的堅調に推移している。需要の中心となる価格帯は、155㎡程度の土地で5700万円程度、新築戸建住宅で7500万円程度と史料する。なお、賃貸需要についてはさほど強いエリアではない。																								
(7) 試算価格の調整・ 検証及び鑑定 評価額の決定の 理由		近隣地域は、戸建住宅を主体とする地域であるが、駅及び都心アクセスに優れることから賃貸市場も一定程度成熟している。近隣地域の地域特性を勘案すると、自己使用目的の取引が主体となることから、比準価格の相対的信頼性は高いものと判断する。したがって、不動産市場の実勢を反映した比準価格を重視し収益価格を比較考量して、公示価格を規準とした価格及び指定基準地からの検討を踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。																								
(8) 公示 価格 とした 価格を	① ☐ 代表標準地 ☒ 標準地 標準地番号		②時 点 修 正		③標準化 補正		④地域要 因の比 較		⑤個別的 要因の 比較		⑥対象基準地 の規準価格 (円/㎡)		⑦内 訳		標準 化補 正		街路 交通 環境 画地 行政 その他		0.0 0.0 0.0 +1.0 0.0 0.0		地域 要因		街路 交通 環境 行政 その他		0.0 -3.0 0.0 +5.0 0.0	
	墨田 -2 公示価格 361,000 円/㎡		[100.3] 100		100 [101.0]		100 [101.9]		[104.0] 100		366,000				その他 0.0											
(9) 指定 基準 地 からの 検討	① 指定基準地番号		②時 点 修 正		③標準化 補正		④地域要 因の比 較		⑤個別的 要因の 比較		⑥対象基準地 の比準価格 (円/㎡)		⑦内 訳		標準 化補 正		街路 交通 環境 画地 行政 その他		0.0 0.0 0.0 +1.0 0.0 0.0		地域 要因		街路 交通 環境 行政 その他		+4.0 +3.0 +22.0 +5.0 0.0	
	墨田 (都) -4 前年指定基準地の価格 487,000 円/㎡		[100.2] 100		100 [101.0]		100 [137.2]		[104.0] 100		366,000				その他 0.0											
(10) 対 象 基 準 地 の 前 年 標 準 価 格 等 か ら の 検 討	①-1対象基準地の検討 ☒ 継続 ☐ 新規					③ 変 動 状 況 要 因 の 価 格 形 成 要 因 の		[一般的要因]		コロナ禍においても区内の人口は微増傾向にあり、不動産需要も比較的堅調に推移している。																
	前年標準価格 367,000 円/㎡							[地域要因]		都心アクセス性に優れる混在住宅地域であるが、現在の所、地域要因に大きな変動は見られてない。																
	①-2基準地が共通地点 (代表標準地等と同一地点) である場合の検討 ☐ 代表標準地 ☐ 標準地							[個別的要因]		個別的要因に変動はない。																
	標準地番号 - 公示価格 円/㎡																									
②変動率		年間 +0.3 %		半年間 %																						